

2. 推進のための指標（数値目標）

男女共同参画社会は、行政の施策だけでは実現できません。町民のみなさん一人ひとりが理解を深め、地域団体や事業者など様々な活動のなかで取り組むことが必要です。

そこで、家庭、学校、職場、地域の中の身近なことから「指標」を設定し、令和7年度までの目標値を定め、目標達成に向けて取り組んでいくこととします。

基本目標Ⅰ 男女共同参画推進の基盤づくり

主な指標	H27年度	現状 (R2年度)	目標値 (R7年度)	説明
社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の平等感（男性の方が優遇されていると感じている割合）	72.6%	79.2%	70.0%	数値が下がる方が男女共同が進んでいる。
「男女共同参画社会基本法」という言葉の認知度（聞いたことがある・内容まで知っている割合）	63.8%	66.4%	70.0%	数値が上がる方が男女共同が進んでいる。

基本目標Ⅱ あらゆる分野で男女共同参画を推進する社会づくり

主な指標	H27年度	現状 (R2年度)	目標値 (R7年度)	説明
審議会等委員女性参画率	22.5%	26.5%	30.0%	数値が上がる方が男女共同が進んでいる。
女性委員がいない審議会等の数	2	3	1	数値が下がる方が男女共同が進んでいる。
「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考えに賛同しない割合	67.8%	74.6%	80.0%	数値が上がる方が男女共同が進んでいる。

基本目標Ⅲ だれもが安心・安全に暮らすことができる社会づくり

主な指標	H27年度	現状 (R1年度)	目標値 (R7年度)	説明
住民健診の受診率	40.0%	51.9%	60.0%	数値が上がっている方が健康への意識が高まっている。

※住民健診の受診率については、基山町の国民健康保険世帯の40歳から74歳対象の検診